

水・大気環境局大気環境課

1. 事業の概要

近年、我が国の光化学オキシダントの濃度レベルは上昇傾向にあり、光化学オキシダント注意報の発令地域も広域化している状況にある。

これらの要因を解明するため、平成19年度に「光化学オキシダント・対流圏オゾン検討会」において検討を行い、中間報告が取りまとめられたところ。

その中で示された今後の課題を踏まえ、寄与割合や地域毎の詳細な要因分析、シミュレーションモデルの改良、モニタリング体制の拡充等を行うもの。

また、越境汚染等の要因分析に必要となる国際的なデータ比較に対応するため、光化学オキシダント測定に関する精度管理体制を確立する。

2. 事業計画

	H20	H21	H22	H23
既存の知見、文献等による光化学オキシダント濃度等の調査	→			
光化学オキシダント濃度の変動要因の調査及び予測モデルの確立		→	→	
新たな光化学オキシダント対策の検討			↔	
光化学オキシダント測定に関する精度管理体制の構築		←	→	→

3. 施策の効果

光化学オキシダントの濃度上昇、注意報の広域化等の原因究明を図るとともに、より信頼性の高い光化学オキシダント等の常時監視体制を構築・維持することにより、効果的・効率的な光化学オキシダント対策の実施に資する。

4. 備考

調査費 40百万円

(内訳)

光化学オキシダント濃度の変動要因調査及び予測モデルの確立

20百万円

光化学オキシダントの精度管理体制の構築

20百万円

光化学オキシダント動向等調査費

光化学オキシダント

- ・濃度レベルの上昇
- ・注意報発令地域の広域化
- ・極めて低い環境基準達成率



光化学オキシダント・対流圏オゾン検討会
中間報告(平成19年12月)

< 今後の課題 >

調査研究・モニタリングの推進

- 寄与割合の定量的な評価
- 地域毎の詳細な要因分析
- シミュレーションモデルの改良
- 適正な大気常時監視システムの維持

光化学オキシダント濃
度の変動要因の調査及
び予測モデルの確立



光化学オキシダント測定
の精度管理体制
の整備



光化学オキシダントの濃度上昇等の原因究明
信頼性の高い常時監視体制の構築・維持

効果的・効率的な光化学
オキシダント対策の実施